※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆

九州運輸局メールマガジン　　平成２４年５月２４日　第１６８号

～九州の明日を拓く運輸と観光～

九州運輸局ＨＰアドレス　　http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※

◇◇

―◆―　目　次　―◆―

１　九州運輸局ホームページアップ情報（５月１６日～５月２２日掲載分）

☆　各種情報

☆　分野別情報

☆　報道発表

☆　お知らせ

２　グリーン経営推進講習会のご案内

３　運輸局セミナー

４　現場レポート

◇◇

◇◆

１　九州運輸局ホームページアップ情報（５月１６日～５月２２日掲載分）

◇◆

☆各種情報

《入札契約情報》

・企画競争に係る実施結果の公表（平成２４年５月まで）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU_KEKKA

・企画競争実施予定情報の公表（５月１７日及び５月２３日分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU_YOTEI

・企画競争実施公示（５月１７日及び５月２２日分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

・物品・役務入札公示（５月１８日、５月２２日分及び５月２３日分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

☆各種情報

《海技試験制度・合格者発表》

・海技試験の総合合格者発表

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm

《九州のうんゆ》

・九州のうんゆ　平成２４年２月号

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/pdf/24_2.pdf

☆分野別情報

《交通環境》

・各県別低公害車保有台数（平成２３年９月末現在へ更新）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/kankyou/teikougai_23_9.pdf

☆報道発表

・中国からの教育旅行誘致促進のため、広東省東莞市及び周辺地域の教育関係者を九州に招請します！

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-0518-kokusai.pdf

・モータースポーツ観光に係るマスコミ招請事業を実施します！

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-0521-kokusaikankoka.pdf

・平成２３年度日韓旅客定期航路の旅客輸送実績について

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-0522-ryokakuka.pdf

☆お知らせ

・「不正改造車を排除する運動」及び「ディーゼルクリーン・キャンペーン」について

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2012-0509-seibi.pdf

・宮崎市でグリーンを経営講習会を開催します！

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2012-0516-kankyo.htm

◇◆

２　宮崎市でグリーン経営推進講習会を開催します！

◇◆

九州運輸局では、グリーン経営の普及・推進を図るため、７月９日～１０日宮崎市においてグリーン経営推進講習会を開催します。

グリーン経営とは、グリーン経営推進マニュアルに基づいて一定レベル以上の取り組みを行っている事業者に対して、認証・登録を行うもので、同マニュアルに基づく事業者の環境改善の努力を客観的に証明することにより、取組意欲を高め、社会的評価の向上を図るとともに、業界における環境負荷の低減につなげていくものです。

詳しくは、下記ＵＲＬに掲載しています。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2012-0516-kankyo.htm

◇◆

３　九州運輸局セミナー

◇◆

九州運輸局の各課から業務内容等を紹介するコーナーです。

今回は企画観光部　観光地域振興課です。

国土交通省・観光庁では、東日本大震災直後冷え込んだ国内旅行需要を喚起し、地域の経済活性化、交流拡大による日本の魅力の再発見、多様なライフスタイルの実現等を図るため、平成２３年４月から官民合同による「がんばろう！日本」国内旅行振興キャンペーンを実施し、平成２４年３月からは「東北観光博」が開催されているところです。

観光地域振興課では、国内の観光資源を活かした魅力ある観光地域づくりを推進していますが、その支援の一つとして「観光地域づくりプラットフォーム支援事業」があります。これは、観光客が２泊３日以上の滞在型観光ができるような広域的な観光エリアの整備を促進し、観光客や旅行会社等とそのエリアとの手続きをワンストップで行える窓口機能を担う「観光地域づくりプラットフォーム」の形成を推進しつつ、着地型旅行商品の企画・販売、人材育成等を行う取り組みを支援しています。また、新たな旅行需要拡大のため、体験・交流型の「グリーンツーリズム」「ヘルスツーリズム」等、新しい形態の旅行商品の推進にも取り組んでいます。

そのほか観光旅行の促進のための取り組みとして、休暇を取得して外出や旅行を楽しむことを積極的に促進し、休暇（オフ）を前向き（ポジティブ）にとらえて楽しもう、という「ポジティブ・オフ運動」や地域ぐるみの「家族の時間づくり」を

目的として、大人（企業）と子ども（学校）の休みをマッチングさせ、「家族の時間」がもたらす教育的・社会的効果を明らかにするとともに、取組課題とその改善方策の検証等を目的とした「家族の時間づくりプロジェクト」を平成２２度から実施しており、今年は九州では福岡市が１０月５日（金）～１０月９日（火）、人吉市が１０月６日（土）～１０月９日（火）、奄美市が１１月２２日（木）～１１月２５日（日）の間で実施されます。

今年３月に、観光立国推進基本法に基づき新たな「観光立国推進基本計画」が閣議決定されました。方向性として、観光は、国の成長戦略の柱の一つであり、長らく経済が低迷し地域が疲弊する中、人口減少・少子高齢化の閉塞状況を打ち破り、急速に経済成長するアジアの観光需要を取り込むとともに、地域経済の活性化・雇用拡大等を図るために、観光の裾野の拡大と観光の質の向上を掲げています。

詳しいことを知りたい方は、６月１８日（月）に観光庁の説明会が九州運輸局７階海技試験場で開催されますので、参加を希望される方は下記までご連絡ください。

皆さんも、ポジティブにオフして、リフレッシュしましょう！

九州運輸局　企画観光振興部　観光地域振興課
電話　０９２－４７２－２９２０

◇◆

４　現場レポート

◇◆

▼▼中学生が海の仕事を見学▼▼
～次世代人材育成の海事施設見学会開催～

福岡運輸支局では、海事産業の次世代人材育成事業の一環としまして、５月１８日（金）北九州市立白銀中学校２年生の生徒２０名に海事施設見学会を実施しました。

実施日当日の北九州地方は晴天に恵まれ、絶好の海事施設見学日よりとなりました。

午前中、新門司港でフェリー「やまと」船内を見学しました。

　船橋では実際にレーダーを操作して陸地や船舶の位置を確認したり、操舵装置やコンパスなどの説明を受け、船内の客室や甲板、機関室でエンジンの仕組みや燃料などを学び、エンジンの実物を見学しました。

　学生から、「肩部分の模様の意味は？」「なぜこの職業を選んだのですか？」などの質問が盛んにありました。
　午後からは門司区の倉庫会社で、大型冷蔵庫内の見学をしました。
　マイナス４０度の冷蔵倉庫に実際に入り、冷蔵倉庫の冷やす仕組みや、物流における倉庫の役割などを学びました。学生から「想像を超える寒さ」「鼻毛が凍った」など非日常的環境に興奮しきりでした。

　職場体験後のアンケートでは、「いろいろな機械を見て楽しかった。」「親に頼んでフェリーに乗りたいなと思った。」「超低温が面白かった。」など、船や倉庫に興味を持つ意見が多くありました。

　今回の職場体験は、阪九フェリー株式会社、マルイ物流システム株式会社のご協力とご厚意により実施することができました。この海事施設見学会により、普段、海の仕事に接する機会の少ない中学生達に海事産業への興味を持ってもらえたと思います。
（福岡運輸支局）

※職場体験の模様は、次のＵＲＬからご覧になれます。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_168.pdf

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆
【編集部より】
　「金環日食」　見えた人も見えなかった人も、ひととき宇宙の営みに思いを馳せられたことでしょう。
　その昔、日本神話の天照大神の「岩戸隠れ」伝説は日食を表しているという説や卑弥呼の没落の原因は日食であるとか、日食は天変地異の前触れとして恐れられていたようです。
　現代では、科学の発達で小学生でも日食の仕組みを説明できるようになりました。
　次回は「１８年後の２０３０年６月１日に北海道」ということまで解っているのは驚きです。
　歓声を上げて空を見上げた子供たち。

　１８年後の子供たちもわくわくしながら空を見上げられる環境を残すことが私たち大人の努めだと思います。
　将来、ひょっとしたら、「月から見る日食ツアー」が行われているかもしれませんね。

　編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）
mail ： mm-kyushu@qst.mlit.go.jp
Tel　： 092-472-2312　　Fax ： 092-471-7192
◇◆

※※※
▼九州運輸局メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから▼
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html
※※※